

比治山大学
国際交流センター
主催

講演会のお知らせ

今、世界が期待する広島市民

2017年は戦後72年にあたる。本講演は、戦中、日本の植民地や敵国だった国の人々に対して、日本の個人や市民団体が継続して行なってきた和解運動を紹介し、今後の世界平和のために必要な市民の力を改めて訴える。

日時

2017年12月20日（水曜日）

13:00～14:30

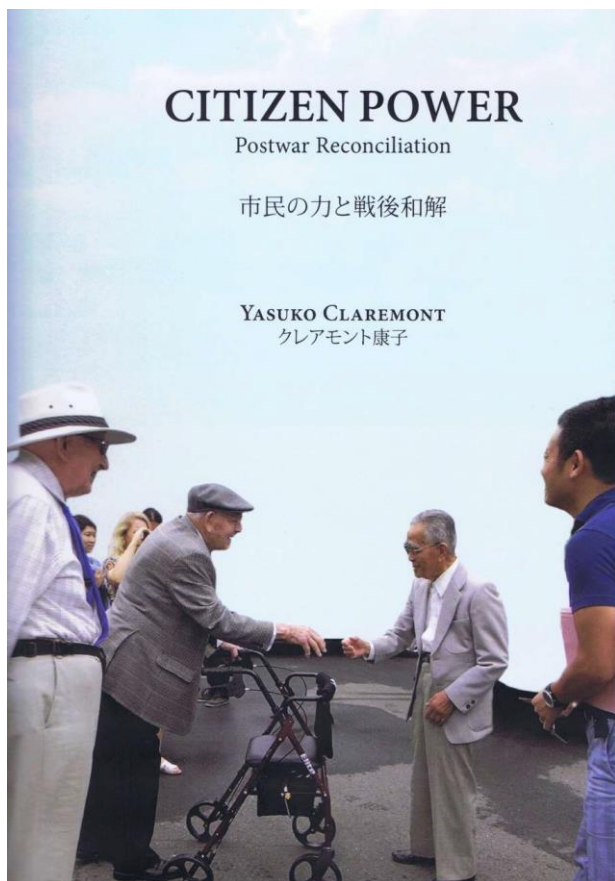
*12:30～ 受付開始

会場

比治山大学10号館5階多目的ホール
広島市東区牛田新町4丁目1-1

問い合わせ

比治山大学 国際交流センター
TEL 082-229-8930



講演者：クレアモント康子氏

シドニー大学日本研究学科名誉上級講師。1984年から2016年まで、シドニー大学で、日本文学、詩歌、比較文学講座を担当。2011年から2015年にかけて、シドニー大学、韓国学中央研究院、京都立命館大学で一連の国際和解学会を開催し、研究者交流と研究生を育成した。現在、峠三吉、栗原貞子を中心に広島市民文化運動について執筆中。

近著に日英語による *Citizen Power: Postwar Reconciliation* (『市民の力と戦後和解』), 2017, 共訳 *Ishibumi: A memorial to the atomic annihilation of 321 students of Hiroshima Middle School*, 2017 がある。